

有限会社 尾野興業運輸

2017 年度環境活動レポート (2017 年 6 月～2018 年 5 月)



エコアクション21
認証・登録番号 0006749



発行日 2018 年 11 月 27 日

エコアクション21環境活動レポート

(活動対象期間 2017年6月～2018年5月)

目 次

1 環 境 方 針	3
2 会社概要・対象範囲	4・5
3 環境負荷実績・目標	6
4 目標に対する実績・主要な環境活動計画の内容及び取組結果の評価	7・8
5 関連法規の遵守状況・代表者による評価・見直し	9

有限会社 尾野興業運輸

環 境 方 針

〈環 境 理 念〉

有限会社尾野興業運輸は、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、かけがえのない地球環境の保全は事業活動の重要な要素として位置づけるとともに、産業廃棄物の収集運搬事業における環境負荷の低減を図り、人・地球・地域に優しい企業となることを目指します。

〈環境保全への行動指針〉

この環境方針を全従業員へ周知します。

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

①受託処理量(収集運搬量)の安定的確保

- ・収集・運搬業を的確に実施し、
収集運搬量増を目指す

②二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)

- ・電力(事務所)
- ・液化石油ガス(事務所)
- ・自動車燃料(営業車、トラック)

③廃棄物の削減及び再資源化の推進(循環型社会への対応)

- ・一般廃棄物(可燃ごみ)

④グリーン購入の推進

- ・消耗品等のグリーン購入の徹底化

⑤排水量の削減(水資源の保全)

- ・地下水
- ・車両洗浄水

⑥環境配慮

- ・地域の環境美化

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

4. 本方針を当社の全従業員に周知徹底いたします。

制定日:2010年5月1日

改定日:2018年6月1日

1.会社概要

- (1) 事業者名及び代表者名
有限会社 尾野興業運輸
代表取締役 尾野 守彦
- (2) 所在地
本社 : 〒679-4116 兵庫県たつの市神岡町沢田949番地の1
TEL:0791-62-9152 FAX:0791-62-9153
- (3) 設立 :平成3年6月12日
- (4) 資本金 2,000万円
- (5) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
環境管理責任者 唐沢 麻衣
担当者 唐沢 麻衣
TEL: 0791-62-9152
FAX: 0791-62-9153
- (6) 事業内容
産業廃棄物収集運搬業
一般区域貨物自動車運送業
- (7) 事業の規模(平成28年度実績)

事業規模		2017年度実績(2017.6~2018.5)
収集運搬量	汚泥	31,457t
	食品残さ	3,403t
	合計	34,860t
売上高		183百万円
従業員数		12名 (役員4名含む)

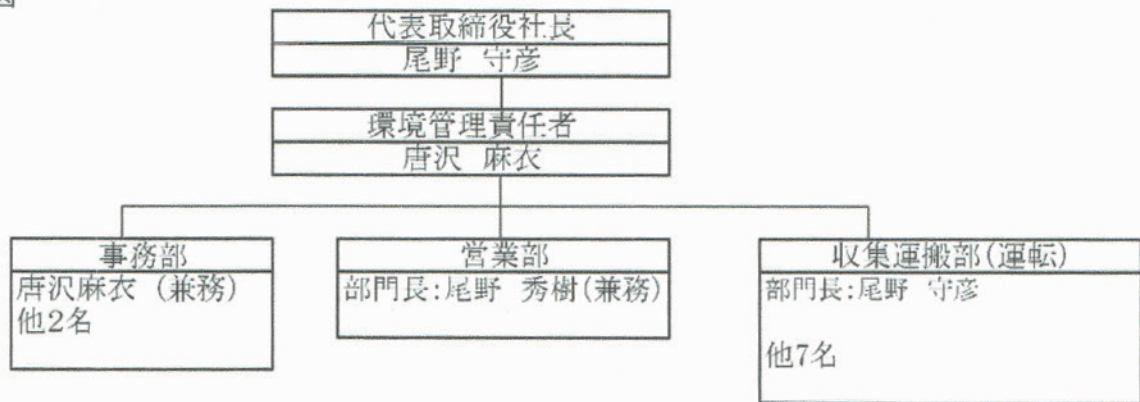
- (8) 事業年度
6月～翌年5月

(9) 産業廃棄物収集運搬車両及び重機

車 輛	車種	最大積載量	車番
		いすゞ10tダンプ	11,400kg
	いすゞ10tダンプ	11,000kg	姫路130を18
	いすゞ10tダンプ	12,000kg	姫路130え19
	いすゞ10tダンプ	10,100kg	姫路131え20
	いすゞ10tダンプ	10,800kg	姫路131あ21
	いすゞ10tダンプ	10,700kg	姫路131く22
	いすゞ10tダンプ	10,800kg	姫路131あ23
	いすゞ10tダンプ	11,000kg	姫路131い24
	その他 営業用	4台	
	車両合計	12台	
	フォークリフト	1台	
	重機合計	1台	

- (10) 認証・登録の対象事業所・対象活動
登録組織名 有限会社 尾野興業運輸
活動 産業廃棄物収集運搬業務

(11) 組織図



(12) 産業廃棄物収集運搬業許可一覧

行政名	許可番号	汚泥	廃 プ ラ 類	木 く ず	動 植 物 性 残 さ	金 属 く ず	リ ン ク	燃 え 殻	許可取得年月日 及び有効年月日
広島県	第3400001756号	○							平成28年4月13日 令和3年4月12日
大阪府	第2700001756号	○	○	○	○	○	○	○	平成30年2月17日 令和5年2月16日
兵庫県	第02806001756号	○	○	○	○	○	○	○	平成28年12月25日 令和3年12月24日
岡山県	第3301001756号	○		○	○			○	平成28年11月6日 令和3年11月5日
愛知県	第02300001756号	○							平成27年1月28日 令和2年1月27日
京都府	第02600001756号	○	○	○	○				平成27年5月20日 令和2年5月19日

※事業の範囲

積替え・保管を含まない(積替保管施設 無)

(13) 廃棄物処理料金

廃棄物の種類、数量、収集方法などにより見積りいたします。

弊社までお問い合わせください。

TEL:0791-62-9152

(14) 主要取引実績

㈱ダイセル姫路工場
サントリープロダクツ㈱高砂工場
兵庫パルプ工業㈱
松谷化学工業㈱
日本製紙パピリア㈱
丸大食品㈱高槻工場
パナソニック液晶ディスプレイ㈱
コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
(公財)兵庫県まちづくり技術センター

(15) 処理業者一覧

会社名	所在地
㈱白滝有機産業	岡山県
児島興業(有)	岡山県
㈱日本資源開発社	岡山県
中国有機㈱	岡山県
(有)エコファーム	岡山県
クリーン発酵㈱	岡山県
日本有機(株)	岡山県

2. 主な環境活動の実績

項目	単位	基準年度実績	2015年度実績	2016年度実績	2017年度実績
1参考) 収集運搬量	t	24,020	30,680	34,860	41,729
2 二酸化炭素排出量	kg CO ₂	743,719	760,515	882,770	987,965
①電力	kWh	11,462	7,449	6,817	6,544
	kg CO ₂	4,195	3,792	3,470	3,331
②液化石油ガス	kg	38	33	29	29
	kg CO ₂	113	100	87	86
③軽油	L	271,028	278,763	325,524	365,904
	kg CO ₂	711,270	731,568	854,285	960,257
④ガソリン	L	8,757	9,264	9,267	8,804
	kg CO ₂	20,332	21,507	21,514	20,440
⑤灯油	L	1,966	1,600	1,531	1,546
	kg CO ₂	4,899	3,987	3,815	3,853
3 廃棄物排出量	kg	32	18	12	24
4 総排水量(概算)	m ³	2,664	1,510	1,500	1,520

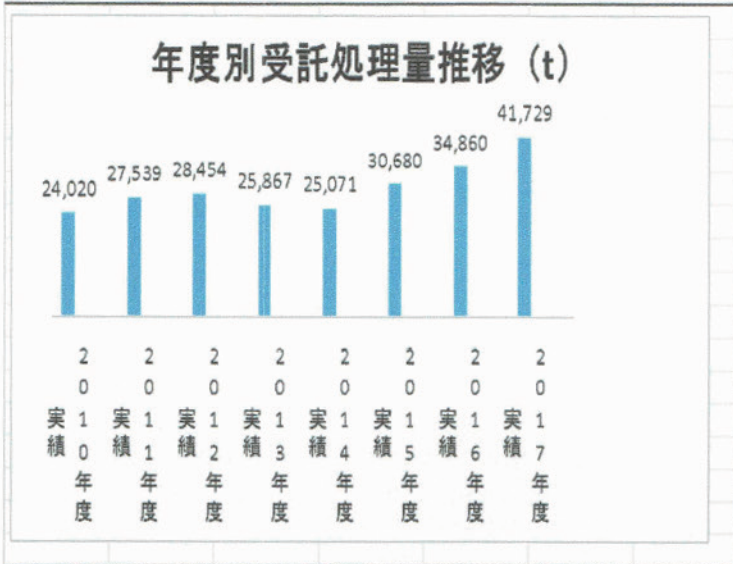
注) 電力の二酸化炭素排出係数は、2011年度関西電力公表の0.509kg-CO₂/kWhを使用。

3. 環境目標

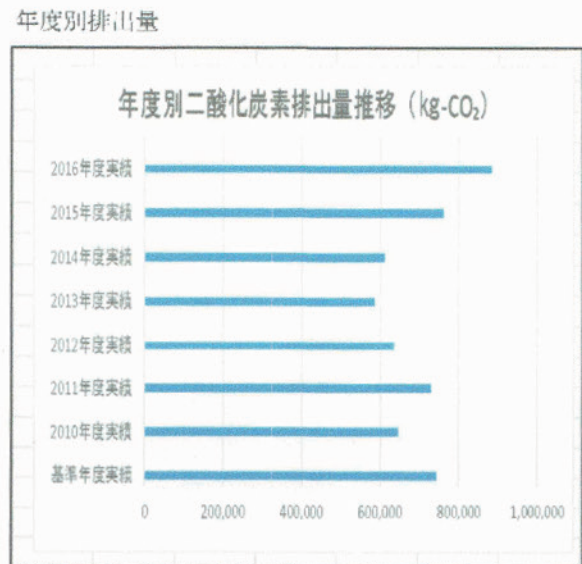
項目	実績(基準値) 2015年度	目標		
		2017年度	2018年度	2019年度
産業廃棄物収集運搬量 (t)	30,680	33,748 安定的確保	33,748 安定的確保	33,748 安定的確保
電力使用量(kWh)	7,449	(対基準2%削減) 7,300	(対基準2%削減) 7,300	(対基準2%削減) 7,300
液化石油ガス(kg)	33.0	(対基準1%削減) 33.0	(対基準1%削減) 33.0	(対基準1%削減) 33.0
軽油使用量(L)	325,524	(対基準2%削減) 2016年度実績 319,013	(対基準2%削減) 319,013	(対基準2%削減) 319,013
ガソリン使用量(L)	9,264	(対基準2%削減) 9,078	(対基準2%削減) 9,078	(対基準2%削減) 9,078
灯油使用量(L)	1,600	(対基準2%削減) 1,568	(対基準2%削減) 1,568	(対基準2%削減) 1,568
二酸化炭素排出量削減(kg CO ₂)	760,515	745,304	745,304	745,304
廃棄物排出量の削減(kg)	18	(対基準2%削減) 17.8	(対基準2%削減) 17.8	(対基準2%削減) 17.8
地下水を使用しています 節水(m ³)	1510	(対基準3%削減) 1,495	(対基準3%削減) 1,495	(対基準3%削減) 1,495
グリーン購入の推進	2013年度実績 7品目	7品目 リスト作成	7品目 定着化	7品目 定着化
環境配慮	周辺の環境美化 年3回	周辺の環境美化 年3回	周辺の環境美化 年3回	周辺の環境美化 年3回

※収集運搬量については、当面は基準値維持とする。

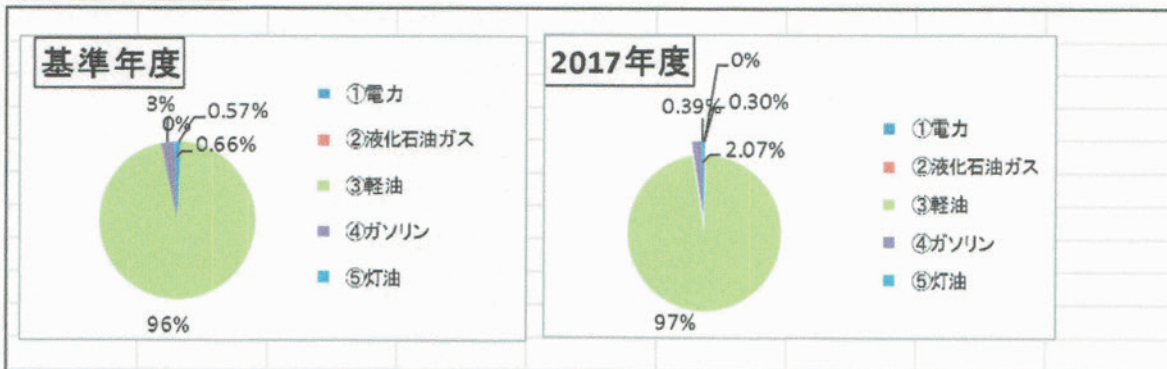
(1) 受託処理量の増加への取組結果



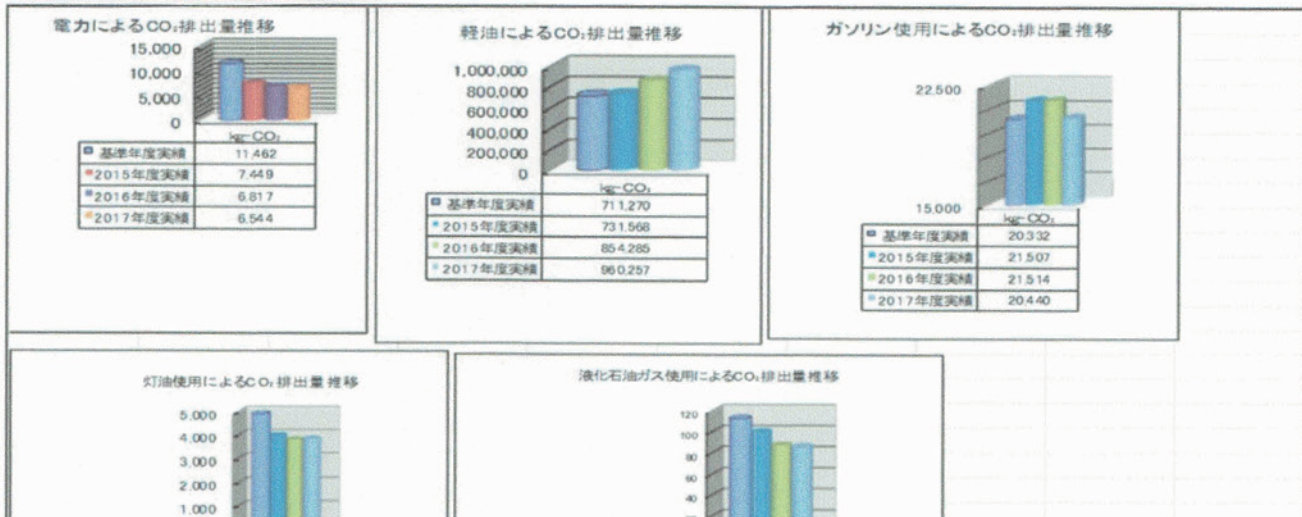
(2) CO₂排出量の削減に関する取組結果



CO₂排出量構成比



各項目の年間CO₂排出量推移



	kg-CO ₂
■ 基準年度実績	4,899
■ 2015年度実績	3,967
■ 2016年度実績	3,815
■ 2017年度実績	3,853

	kg-CO ₂
■ 基準年度実績	113
■ 2015年度実績	100
■ 2016年度実績	87
■ 2017年度実績	86

4. 目標に対する実績・主要な環境活動計画の内容及び取組結果の評価

*2017年6月～2018年5月の1年間の目標とその実績についての評価

環境活動計画	達成状況		単位及び 対目標 達成率	評価
	基準値	実績値		
受託処理量の安定的確保	基準値 30,680 目標値 30,680 実績値 41,729	30,680 30,680 41,729	t 136%	達成 ◎ 社長の営業努力により 受託処理量が増加した。
二酸化炭素排出量の削減	基準値 760,515 目標値 745,304 実績値 987,965	760,515 745,304 987,965	kg-CO ₂ 75%	未達成 × ガソリン使用料にもう少し 改善の余地あり
電力使用量の削減 ・不要照明の消灯 ・エアコン温度の適正化	基準値 7,449 目標値 7,300 実績値 6,544	7,449 7,300 6,544	kWh 111%	達成 ◎ 前年度を教訓に エアコンの温度の適正 化に努めた
軽油使用量の削減 ・アイドリングストップ ・空気圧・オイル等の 点検 ・運転者研修	基準値 325,524 目標値 319,013 実績値 365,904 平均燃費 前年度ま での平均 燃費 3.3 3.13	325,524 319,013 365,904 3.3 3.13	L 87% km/ℓ	未達成 △ 未達成なのは受託処理量が増加したため。 燃費は前年度までの2年間の 平均燃費と比較して向上している。 順調である。
ガソリン使用量の削減 ・アイドリングストップ ・運転者研修	基準値 8,757 目標値 8,582 実績値 9,267	8,757 8,582 9,267	L 92%	未達成 △ アイドリングストップ等に努め この数値まで持つてくることが出来た 今季は営業活動を十分に行った 結果でもある。
灯油使用量の削減 石泊ストーブ等の使用の 制限	基準値 1,966 目標値 1,926 実績値 1,531	1,966 1,926 1,531	L 125%	達成 ◎ ストーブを買い替えた 使用の資源を実施出来た
液化石油ガス使用量の削減 ポット等の保温機能の あるものを使用	基準値 37.52 目標値 37.0 実績値 29.1	37.52 37.0 29.1	kg 127%	達成 ◎ 電力を気にするあまり ポットの使用回数減
廃棄物の削減 ・ミスコピーの防止 ・裏紙の使用	基準値 0.32 目標値 0.31 実績値 0.012	0.32 0.31 0.012	t 100%	達成 ◎ 紙への印字を減らしPC 中でチェックした
節 水 ・目標を設定する ・節水ラベルの表示	基準値 0.168 目標値 0.162 実績値 0.150	0.168 0.162 0.150	m ³ 108%	達成 ◎ 実績を把握でき、 目標を設定できた。今期中にメー ターを取り付けることが出来た。
環境配慮 ・周辺の環境美化	基準値 年3回程度 目標値 年3回	年3回程度 年3回		周辺の環境美化を実地 地域住民との良好な関

・従業員の環境意識の向上教育	実績値	年3回	100%	係を構築出来ている
グリーン購入	基準値	実績不明		実態の把握は出来ましたが
・実態把握	目標値	実態把握		よく使う物は 大量にまとめ買いしていたため、中々購入にいたらなかったが、7品目については、購入することが出来た。
・目標値を設定する	実績値 累計	7品目 7品目	100%	

5. 環境関連法規の遵守状況

適用される法規制	遵守すべき主な事項	遵守評価
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正な収集運搬	遵守
自動車NOx・PM法	営業用乗用車、収集運搬用トラックの排ガス規制の遵守	遵守
消防法	防火・火災訓練	遵守
自動車・家電リサイクル法	自動車・家電を廃棄する場合	対象なし
フロン排出抑制法	エアコンの簡易点検と記録	遵守

環境関連法規の遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘及び環境上の苦情・要請等は、過去3年間ありません。

6. 代表者による全体評価と見直し

二酸化炭素の排出量の削減について受託処理量が増加したこともあり目標を達成出来なかった。ガソリンは、営業努力を積んだ結果が受託量増加につながっていると考え。アイドリングストップ等努力の結果、目標値に近づける事が出来た。前期に引き続き、軽油は車両ごとに使用量・走行距離をチェックしたため、受託量が増え、行先も増えたが、この数値におさめることが出来た。受託量が増えたにも関わらず燃費が変わらない数値というのは、社員一丸になって取り組んでいるためであり、社員に感謝する。このシステムを今後も続けていく。ホームページでこの結果を生かせられており、取引先にも閲覧してもらえ結果となった。

今期は、基準値を見直し目標値を変更したが、受託量増加に伴い来期も基準値を見直すこととする。当社は電子マニフェストを導入しており、作業の効率化にも成功している。新たに取引があるお客様にも電子マニフェストを奨めて行きたい。

見直し日：平成29年11月26日

代表取締役 尾野 守彦